

令和3年度第7回 うべ未来モニターアンケート集計結果

1 アンケートのテーマ

『防災に関するアンケート』

- (1) 実施期間 令和3年11月8日（月）～11月21日（日）まで
(2) 担当部署 防災危機管理課

2 モニター数・アンケート回答者数

- (1) メール・郵送文書到達モニター数 793 人
(2) 回答者数（回答率） 353 人（44.5 %）

3 回答者の属性

※ 端数処理のため比率の合計が100%にならない場合があります。

【年代】

項目	回答者数	比率	グラフ
10歳代	5 人	1.4 %	
20歳代	3 人	0.8 %	
30歳代	38 人	10.8 %	
40歳代	60 人	17.0 %	
50歳代	75 人	21.2 %	
60歳代	74 人	21.0 %	
70歳代	92 人	26.1 %	
80歳代	6 人	1.7 %	

353 人



ご協力、ありがとうございました。

【居住校区】

項目	回答者数	比率	グラフ
東岐波	13 人	3.7 %	
西岐波	30 人	8.5 %	
恩田	40 人	11.3 %	
岬	8 人	2.3 %	
見初	9 人	2.5 %	
上宇部	30 人	8.5 %	
神原	10 人	2.8 %	
琴芝	19 人	5.4 %	
新川	19 人	5.4 %	
鵜の島	10 人	2.8 %	
藤山	21 人	5.9 %	
原	8 人	2.3 %	
厚東	7 人	2.0 %	
二俣瀬	6 人	1.7 %	
小野	8 人	2.3 %	
小羽山	8 人	2.3 %	
常盤	18 人	5.1 %	
川上	18 人	5.1 %	
厚南	12 人	3.4 %	
西宇部	17 人	4.8 %	
黒石	14 人	4.0 %	
船木	6 人	1.7 %	
万倉	7 人	2.0 %	
吉部	6 人	1.7 %	
在学・在勤	9 人	2.5 %	

N=353

【性別】

項目	回答者数	比率	グラフ
女性	167 人	47.3 %	
男性	186 人	52.7 %	

N=353

4 回答集計

- ※ 比率は、各設問の回答対象数（N）に対する割合を示しています。
- ※ 単数回答であっても、端数処理のため比率の合計が100%にならない場合があります。

『防災に関するアンケート』

担当部署 防災危機管理課

アンケートの趣旨

毎年のように全国各地で大規模な自然災害が発生しており、今まで以上に各自で防災意識を持ち、備えることが重要となっています。

本アンケート調査で、皆さんの防災に対する意識や備えを把握して本市の防災対策に活用するとともに、皆さんの家庭や地域での災害への備えに繋がれば幸いです。

【Q 1】災害時に市が発令する避難情報（高齢者等避難、避難指示、緊急安全確保）はどの手段で入手しますか。（複数回答可）

項目	回答者数	比率	グラフ
テレビ	217 人	20.5 %	
ラジオ（防災ラジオを含む）	61 人	5.8 %	
緊急速報メール、エリアメール	250 人	23.6 %	
防災メール（うべメールサービス）	209 人	19.7 %	
宇部市公式LINE	113 人	10.7 %	
SNS（フェイスブック、ツイッターなど）	39 人	3.7 %	
防災系アプリ（Yahoo! 防災速報など）	65 人	6.1 %	
固定電話防災情報配信サービス	2 人	0.2 %	
防災情報FAX	1 人	0.1 %	
防災屋外スピーカー	51 人	4.8 %	
広報車	47 人	4.4 %	
その他（ ）	5 人	0.5 %	
その他			
民生委員連絡網、ネイティブ宇部（アプリ）、会社内連絡網、NHK（アプリ）			

N=1,060

【Q 2】「避難勧告」の廃止など、令和3年5月20日から避難情報が新しくなりましたが、どの程度知っていますか。

項目	回答者数	比率	グラフ
内容も含め知っている	138 人	39.1 %	
内容は知らないが、新しくなったことは知っている	128 人	36.3 %	
知らない	87 人	24.6 %	

N=353

【Q 3】見たことがある宇部市のハザードマップはどれですか。（複数回答可）

項目	回答者数	比率	グラフ
洪水ハザードマップ	256 人	30.5 %	
土砂災害ハザードマップ	215 人	25.7 %	
高潮ハザードマップ	150 人	17.9 %	
ため池ハザードマップ	73 人	8.7 %	
津波ハザードマップ	114 人	13.6 %	
ゆれやすさマップ	30 人	3.6 %	

N=838

【Q 4】ご自身のお住いの場所にどのような災害リスクがあるか、確認していますか。

項目	回答者数	比率	グラフ
確認している → Q5へ	164 人	46.5 %	
ある程度確認している → Q5へ	164 人	46.5 %	
まったく確認していない → Q6へ	25 人	7.1 %	

N=353

【Q5】Q4で「確認している」「ある程度確認している」と回答された方にお尋ねします。どうやって確認されましたか。（複数回答可）

項目	回答者数	比率	グラフ
ハザードマップ	304 人	73.3 %	
近所や地域の方に聞いた	44 人	10.6 %	
市に問い合わせた	4 人	1.0 %	
もともと知っていた	46 人	11.1 %	
その他（ ）	17 人	4.1 %	
その他			
洪水実績有、講習会、自分自身で調査している、出前講座で勉強しました、社内防災体制に関する情報、両親に聞いた事がある、自分自身の感覚、大学の先生から聞いた、自治会の回覧板、地区自主防災会員、地区の防災訓練、日ごろからの天候や天気予報などを注意していると自ずとわかってくる、ネットで調べた、自宅の海面からの高さを確認、厚東川の側で自宅の土地が低いのがわかっているため、地区のLINE			

N=415

【Q6】どのような防災対策を実施していますか。（複数回答可）

項目	回答者数	比率	グラフ
食料・飲料水の備蓄	172 人	15.9 %	
懐中電灯・電池の備蓄	279 人	25.7 %	
簡易トイレの備蓄	33 人	3.0 %	
非常時持ち出し品の準備	108 人	10.0 %	
自宅の耐震化	45 人	4.1 %	
家具の転倒防止	78 人	7.2 %	
消火器の設置	74 人	6.8 %	
避難先・避難経路の確認	170 人	15.7 %	
防災訓練への参加	91 人	8.4 %	
その他（ ）	7 人	0.6 %	
特にしていない	28 人	2.6 %	
その他			
伝言システムの利用方法の勉強、自治会で避難防災計画を作成、自主防災セミナーの受講、防災アドバイザーの資格習得、アウトドア用品を揃える			

N=1,085

【Q7】自宅に住宅用火災警報器は設置されていますか。

※設置場所は、寝室と階段（2階以上に寝室がある場合）となっています。

項目	回答者数	比率	グラフ
該当箇所すべてに設置済み →Q8へ	192 人	54.4 %	
一部に設置済み →Q8へ	82 人	23.2 %	
未設置 →Q10へ	59 人	16.7 %	
わからない →Q11へ	20 人	5.7 %	

N=353

【Q 8】 Q 7で「該当箇所すべてに設置済み」「一部に設置済み」と回答した方にお尋ねします。住宅用火災警報器本体のボタンを押したり、引きひもを引いたりして作動点検を実施していますか。

項目	回答数	比率	グラフ
半年以内に実施した → Q 9へ	35 人	12.8 %	
半年前より以前に実施した → Q 9へ	117 人	42.7 %	
未実施 → Q 1 1へ	111 人	40.5 %	
わからない → Q 1 1へ	11 人	4.0 %	

N=274

【Q 9】 Q 8で「半年以内に実施した」「半年前より以前に実施した」と回答した方にお尋ねします。作動点検の結果はどうでしたか？

項目	回答数	比率	グラフ
異常なし	136 人	49.6 %	
電池切れ	5 人	1.8 %	
故障			
わからない	11 人	4.0 %	

N=152

【Q10】Q7で「未設置」と回答した方にお尋ねします。
設置していない理由は何ですか。（複数回答可）

項目	回答者数	比率	グラフ
住宅用火災警報器を知らなかった	1 人	1.2 %	
住宅用火災警報器設置が義務化されたのを知らなかった（新築の住宅は平成18年6月1日から、既存住宅は平成23年6月1日から義務化）	9 人	10.6 %	
設置することの効果かわからない	11 人	12.9 %	
金銭的理由で設置していない	6 人	7.1 %	
購入場所が分からない	5 人	5.9 %	
設置の仕方がわからない	5 人	5.9 %	
火事が起きるとは思っていない	3 人	3.5 %	
設置しなくても罰則がない	13 人	15.3 %	
特に理由はない	21 人	24.7 %	
その他（ ）	11 人	12.9 %	
その他			
・警報器を購入した。近々3ヶ所設置する。 ・購入はしたのですが…。 ・アパートです。 ・台所に設置しているから、必要無いと思う。 ・賃貸物件だから。 ・賃貸住宅で特に何も言われてないので。 ・火災警報器は購入していますが、設置をまだしていません。 脚立に乗って作業できないので困っています。 ・火災警報器設置のことは、すっかり忘れていました。 平成20年にオール電化にしたこともあって、油断していました。			

【Q 1 1】防災情報や災害への備えなどについて、ご意見などがありましたら、
ご自由にお書きください。

自由記入の内容
別紙

担当部署による総括
昨年度よりも130名以上も多くの方にご回答いただき、市民の皆さんの防災に対する関心が高まっていることを実感しています。 避難情報が新しくなったことを知らない方や災害リスクを確認されていない方が、少なからずいることがわかりましたので、防災に関する情報・知識の周知啓発に引き続き取り組む必要性も改めて感じました。 また、住宅用火災警報器が適法に設置されていない世帯（一部設置及び未設置）が39.9%と、まだ多くの世帯に設置されていないことや、半年以上作動点検を実施していない世帯が83.2%であることがわかりました。アンケートの結果を踏まえ、住宅用火災警報器の設置率向上はもちろんのこと、設置から10年が経ち作動点検の結果が「電池切れ」だった世帯も出てきていることから、作動点検の必要性についても広報していく必要があると感じました。 今回のアンケートが皆さんにとって災害に備えて行動したり、防災について考えたりするきっかけになれば幸いです。防災危機管理課では出前講座も承っていますので、避難における注意点など、防災について聞きたい内容があれば是非お申込みください。

【Q 1 1】防災情報や災害への備えなどについて、ご意見などがありましたら、ご自由にお書きください。

分類	性別	年代	内容
1.避難	女	60	避難情報が出ても、今年の夏のようにコロナ禍では、大勢が集まることが果たして良いのかどうか迷ってしまう。 個人的には、まだ車の運転もできるし、いざとなれば避難も可能だけど、車がない高齢者のみの家庭に対して、事前に誘導対策がないと声かけにくいし、たとえ声をかけても遠慮されたりしないか心配です。
1.避難	男	80	災害時に避難することが難しい箇所に悩んでいます。市の防災危機管理課とも話し合いはしています。
1.避難	男	80	どうも近頃、大雨や台風等で自主避難をする一人暮らしの高齢者（女性）を多く見かける。皆不安なのはよくわかるけど、災害になっても安全なのに避難する人が多い。近くに一時避難場所があるのに、そこには行かず高齢者の多くいるふれあいセンターに。避難をすれば食事も兼ねられると安易に考えているのではないか。
1.避難	女	50	民生委員が高齢者の方々へ早めの避難を勧めるが、「大丈夫」と言われることも多くあります。高齢者の方々に安全に避難していただくためには、どのようにしたらよいのか。いろいろと思案していますので、何かアドバイスなどがあればと思います。
1.避難	女	70	・災害への備えは誰でも考えているが、なかなか行動にうつせない。 ・避難基準が改訂されても年輩者は理解していないし、発令されても動くタイミングが判断できず、結果的に家に留まる。第三者の指示、呼びかけが必要となる。
1.避難	男	70	基本として、自分の身・命は自分で守ると意識しています。災害発生の兆候がある時は危険箇所近づかないが、周りの様子のある程度確認し、迅速に動ける様に気を配っています。
1.避難	女	40	地区の避難所は狭いし、行くまでに被害がひどくなると怖い。

【Q 1 1】防災情報や災害への備えなどについて、ご意見などがありましたら、ご自由にお書きください。

分類	性別	年代	内容
1.避難	女	60	居住地では水害の危険はないと言われました。地震災害が心配ですが、いざという時の判断がなかなか難しいです。すぐに行動にうつしたほうが良いのか、しばらく様子を見たほうが良いのか迷います。
1.避難	女	60	私達の地域は高台で地盤もしっかりしており、避難場所の小学校・ふれあいセンター等より安全なのですが、その場合でも避難場所へ行かなくてはいけないのでしょうか？疑問があります。
1.避難	女	30	我が子がまだ幼く、避難指示が出ていても「子どもが泣くと迷惑をかけるな」と思い、避難に躊躇してしまいます。避難場所で、親子の居場所があると助かります。
1.避難	女	50	いろいろなシーンでの災害を想定しますが、仕事柄活動範囲が広いこともあり、いざとなると適切な対応や避難、家族や関係者との連絡ができるか不安です。 また、実家は自治会館が避難所になっていますが、手前に河川があり私設橋は老朽化が酷いため、両親は避難所へ向かわず自宅待機する方が安全だと話しています。自宅待機の場合に支援物資が行き渡るのか心配していました。 災害時の通信インフラを含む生活支援について、市が準備している情報を共有していただけると安心します。
1.避難	女	30	住んでる場所は高台で、近所の避難場所に行くまでが危険だったり、避難場所が低い場所だったり、建物が古かったりしている。実際に災害が起きたときは、家にいるのが一番安全なのではないかと考えているが、そうすると物資などは支給されないので、何が一番良いのか考えても答えが出ない。

【Q 1 1】防災情報や災害への備えなどについて、ご意見などがありましたら、ご自由にお書きください。

分類	性別	年代	内容
1.避難	女	50	避難所について、災害が予測される段階で備蓄品などをしっかり準備してほしい。最大級の災害などの予報が出た場合は、早い段階で高齢者の方などは避難しておきたいと思うので。自宅から布団など持ち出すのは厳しいのではないのでしょうか。
1.避難	女	50	障害者の避難について周知はしているか？
1.避難	女	30	オール電化の家が多いので、停電になるのが1番困ります。スマホが不可欠な情報入手手段になると思うので、予備のバッテリーを持っています。避難情報が出ても自分は大丈夫と思ってしまうので、早めの避難を心がけたいです。
1.避難	男	40	避難所等の情報を把握していても、自家用車がなければ避難できない何キ口も離れた場所では、実際に災害が起きた時には老人・子どもなどは避難所に辿り着けないと思います。その辺りの対策をお願いしたいです。
2.避難情報	女	60	台風などの際、防災屋外スピーカーで避難指示の放送が流れるようになり、市民センターのすぐ近くの我が家ではよく聞こえるが、風向きによって台風の豪雨の中では聞き取りにくいこともある。少し離れた場所の人、雨戸を閉めた場合、特に高齢者の方などは、全く聞こえない方もいらっしゃる。市民全員には無理でも、高潮、土砂、洪水の危険エリアにお住まいの方には、宅内への防災放送や子機の設置をしてあげてほしい。
2.避難情報	男	70	災害時は自分の命を守ることが一番である。災害内容によって避難場所を確認してもらうためには、地域、内容等による誘導を早急にできるよう自主防災組織で定めておくこと、定めた内容を各家庭へ知らせるチラシの作成・配布、自治会長等への周知が大事。

【Q 1 1】防災情報や災害への備えなどについて、ご意見などがありましたら、ご自由にお書きください。

分類	性別	年代	内容
2.避難情報	男	70	・ Q 4 の「災害リスク」の設問はよく理解できない。台風・大雨・洪水・高潮と記載があると Q 5 に対して回答できる。ハザードマップに限定しているのかな？ ・ 防災屋外スピーカーについて。黒石の防災屋外スピーカーは聞こえない。原は聞こえる。内容は同じですか？地区によって内容が異なっていると行動が違ってくる。 ・ 厚東川のスピーカーが近くにある。よく分かるので厚東川のスピーカーの活用を希望する。 ・ ハザードマップについて、市の担当者はもっと勉強してほしい。県が作成したでは困る。 ・ F M きららの放送を活用して防災情報の提供を増加する等、予算を増加してはどうか。 ・ T V の情報が早くてよく分かる。N H K、K R Y 等々の活用を増加してはどうか。
2.避難情報	男	70	防災ラジオ、防災メール、防災屋外スピーカー等の防災の情報入手手段があることを、老若男女に限らず周知徹底を図ることが必要であると思う。
2.避難情報	男	50	ラジオが役立つ。
2.避難情報	男	60	防災マップの入手方法が、あまり周知されていないと思う。
2.避難情報	男	60	防災屋外スピーカーはよく聞こえない。
2.避難情報	女	40	大雨のときなど、災害発生の恐れがある時には、厚東川や真締川の氾濫危険箇所の様子を、youtubeなどのライブカメラで確認できるようにしてほしい。
2.避難情報	男	50	防災屋外スピーカーの設置場所から 3 0 0 メートルぐらいしか離れていないが、放送の音声は建物の中だと聞き取りにくいと思います。風向きによるかもしれませんが。
2.避難情報	男	50	このアンケートでハザードマップを見ることができた。 宇部市が火災への備えを配る。有料でも良い。それにハザードマップも入れてほしい。

【Q11】防災情報や災害への備えなどについて、ご意見などがありましたら、ご自由にお書きください。

分類	性別	年代	内容
2.避難情報	男	70	避難情報が出ても、対象が広範囲で即応できてない。
2.避難情報	男	50	台風や豪雨など、どの種の災害の避難情報であっても、行政主導で情報配信することの限界を感じる。危険と感じる度合いは人によって違い、居住地によって起こり得る災害も異なる。客観的な情報をもとに、居住地に潜むリスクや災害時の行動指針を各自で考えてもらうよう促す以外ないのではと思う。
2.避難情報	女	70	何度か広報車が回っていると思うことはありましたが、何を言っているのかさっぱり分かりませんでした。もちろん当時の情報はテレビ等で理解してはいましたが、これじゃあ広い地域には効果はないなと感じました。止まって大きな音量でゆっくり伝えてくれないと無意味です。幹線道路沿いの家には聞こえたかも分かりませんが、それで良いのでしょうか。
2.避難情報	女	50	大雨の時などは、広報車が何か言われているなあ程度の音は聞こえるのですが、雨や風の音でかき消されてよくわかりません。かえって何を言われていたのだろうと不安を掻き立てられてしまうこともあるので、自分よりも年齢が上の方はもっと不安かもしれないいつも思います。
2.避難情報	女	60	防災情報について、何度か宇部市の公用車がスピーカーで防災情報を流しながら巡回されているのを自宅で認識しましたが、アナウンスの音声聞き取りづらく内容が全く理解できませんでした。かえって不安を煽る状況で近所の人や家族と何事かと問題になりました。改善を切に願います。
2.避難情報	男	70	防災屋外スピーカーのテスト放送は、屋内で窓を閉めていると聞き取りにくい。強風または豪雨のときには、効果があるか疑問です。
2.避難情報	女	40	テストで防災放送を聞いたが、何と言っているかわからない。声は聞こえるが内容がわからない。

【Q 1 1】防災情報や災害への備えなどについて、ご意見などがありましたら、ご自由にお書きください。

分類	性別	年代	内容
2.避難情報	男	60	1、防災ラジオを購入したが、地震の試験警報が鳴らなかった。試験警報でも鳴るようにしてほしい。 2、防災ラジオはJアラートには対応していないそうだが、Jアラートにも対応するようにしてほしい。
2.避難情報	男	70	前回募集の「防災ラジオ」購入権がハズレましたので、早急にこれの追加募集などを図っていただきたい！
2.避難情報	女	30	宇部市のラインが役に立っています。今年の大雨の際に夫が使っていて、便利そうだなと思って私も登録しました。実際、役に立ちました。年代が上の方もラインなら使っている人が多いですし、使い方も比較的分かりやすいので、もしもの時に備えて登録したら良いなと思います。
2.避難情報	男	60	防災屋外スピーカーが充分機能してないと思う。特に男性の声が聞き取りにくい。
2.避難情報	男	50	ラジオが役立つ。
3.災害への備え	女	70	大規模な災害が周りで発生していないので、防災意識を持つことがあまりなく、もう一度地域で考えていかないといけないと思っています。
3.災害への備え	男	70	ため池ハザードマップ（保存版）には、遠久ため池、小倉（下）ため池はあり。我々下小野集落に直接災害をもたらすゴルフ場のコース内に存在する2ヶ所のため池のハザードマップも必要だと思う。マップができた時点で提供していただきたい。
3.災害への備え	男	60	自治会の皆様とLINEを作り、緊急時の情報伝達がスムーズにできるようにした。
3.災害への備え	女	40	山口県や宇部市は、災害があまり起こらないと思って安心している人たちが本当に多いと思います。いざという時のために、もっと市や地域での取り組みを分かりやすく、参加しやすいものにする必要があると思います。

【Q 1 1】防災情報や災害への備えなどについて、ご意見などがありましたら、ご自由にお書きください。

分類	性別	年代	内容
3.災害への備え	女	30	我が子（中学生）が災害への備えとして、非常時持ち出し品を準備しています。ニュースで災害を見ると、気になって確認しています。私は災害を体験した事がなく、意識していませんでした。アンケートを通じて、子どもと一緒に備えておこうと思いました。
3.災害への備え	男	30	非常食にこだわらず、日持ちする製品を常日頃から食事にとりいれることなどは実施したいと考えていますが、家族5人分の非常食や飲料水を常時備蓄するとかなり高額となることもあり、なかなか実施できていない。
3.災害への備え	男	60	災害時の人的被害を最小にするために、まず宇部市の警報体制と情報の信頼性を皆に知ってもらうことが必要だと思います。市民の防災意識を高め、その上で警報内容を理解しやすい表現にする必要があります。そして、災害時の避難所の明確化と、お世話をする人たちも訓練を重ね信頼される体制を作ることも大切です。 一方で、自分は大丈夫だと思っている人が多いのも事実だと思います。地域を担う比較的若い人の中に多いように思います。地域の自治会を有効に活用し、防災情報の大切さ、地域の特性に合った避難訓練や応急処置を地域一体となって実行することが大切です。もちろん宇部市の絶大な支援が必要なのは言うまでもありません。

【Q 1 1】防災情報や災害への備えなどについて、ご意見などがありましたら、ご自由にお書きください。

分類	性別	年代	内容
3.災害への備え	女	50	災害時、停電しても使えるスマートフォンで情報を得る事は大事だと思いますが、私の親などは毎日充電していないようで、いつも充電の残量が残らずかになっています。親には「災害時に必要だから毎晩充電したほうがいいよ。」とアドバイスしていますが、まったく変化はありません。多分必要性を感じていないんでしょうね。スマートフォンを毎日充電するといったような、ちょっとした心がけなどの日頃の備えの必要性をもっと発信していただけたら嬉しいです。
3.災害への備え	女	30	このアンケートがきっかけで、我が家の話し合う機会ができました。話し合います！
3.災害への備え	女	50	備えなければいけないと思い、防災リュックを購入したり、必要と思うのを買い足したりはしていますが、家族全員分となると十分ではないのが現実です。 出先で、もしここで何か起きたら？と、不馴れな土地での避難に不安を覚えることもあります。 炊き出し訓練はよくありますが、実際に災害を想定した一泊二日の訓練を地元でやってみたいです。
3.災害への備え	男	50	地域単位で避難訓練を行事として行ったり、市で一斉に各地区での防災活動実施日を指定して参画させる。年単位、季節単位、月単位で実施したり、学校行事などの機会を利用したり、防災資機材の紹介や説明会、展示即売会なども併催すると有効度が上がる。 全く関係ないが、人寄せのためのイベント、例えばフリーマーケットやカフェ・展示即売会を行うことで立ち止まり、会話・対話・触れ合いが起こり、防災機能や情報網が密になると思う。 マンション住まいやワンオペ育児の方、独居高齢者を防災活動に参画させることで被災リスク削減効果は上がる。実施後のヒアリングで企画サイドの情報・認識レベルも上がる。これが宇部方式！

【Q 1 1】防災情報や災害への備えなどについて、ご意見などがありましたら、ご自由にお書きください。

分類	性別	年代	内容
3.災害への備え	女	40	日頃から非常用防災セットを準備しておかねばと思いながら設置していません。どこで災害が起きるかわからないので、今度こそは準備をしようと思います。
3.災害への備え	男	60	市内には沿岸地域、低水地域、山間地域がありますが、自分の家はどのような気象の時に危険性があり、どのような行動をしないといけないのかを自覚させることが重要です。若い人を中心に周知、啓発する手法を考え、実施し、防災意識を高めることができないでしょうか。
3.災害への備え	男	70	・要援護者に登録している方への避難意思確認は、民生委員さんが行うことが規定されていますか？ ・各自治会の自治会長・自主防災委員に、要援護登録者が連絡される仕組みになっていません。 この2点を決めておく必要があります。
3.災害への備え	女	40	いつでも対処する心の準備はしている。
3.災害への備え	男	70	自主防災会の一員です。総じて行う訓練ではなく、地域に応じた訓練が必要と考えます。
3.災害への備え	男	70	現在居住している家は、高潮とは関係がない高さにある。また、土砂災害の恐れもない地域で、自治会内でも防災意識がそんなに高くない所に住んでいます。しかし、これらの災害だけでなく、あらゆる災害に対して、他人事ではないという意識は常に持っていたいと考えています。火災については、直接関係がありますので、常日頃から注意するようにしています。

【Q 1 1】防災情報や災害への備えなどについて、ご意見などがありましたら、ご自由にお書きください。

分類	性別	年代	内容
3.災害への備え	女	50	地域住民は、地域の避難所に行けば何でもあるだろうと思っている人が多い。もっと個人の備蓄の呼び掛けや避難所運営は皆で行うということを知らせることが大事だと思う。地区防災士会として、企画しないといけないと実感しました。
3.災害への備え	女	70	非常持ち出し品の準備の必要性は十分に理解していますが、あれもこれもと考えていると、つつい面倒になりやめてしまいます。最低限の品について、目安があればいいなあ～と思います。
3.災害への備え	男	70	テレビなどで災害の情報を知るたびに、常にそれなりの対策・準備が必要とは思うものの、思うだけで終わってしまうのが常である。自分ごとにするためには、情けないけれど一度経験者になる必要があるのかな？
3.災害への備え	女	30	近所の方の情報が分からないので、いざというときお互いに協力できるのか不安。
3.災害への備え	男	70	防災屋外スピーカーが設置されていますが、トーンの低い声は聞き取りにくいので、トーンを高くできないでしょうか。 黒石地区は水路が多く水路のそばが通学路になっていますが、水路に防護柵が設置されていないところが多く、洪水となった時には危険です。通学路に防護柵の設置を検討するようお願いします。
3.災害への備え	男	70	防災屋外スピーカー放送が全く聞こえない班です。班内の50代の方が、70から83歳までの独居10人をLINEグループに登録して相互連絡し、孤独感解消等の情報伝達に活用しています。 自治会館が避難所です。トイレの洋式化、玄関のバリアフリー化、防災備品の格納庫購入の市負担、段ボールベッドの支給を要望します。

【Q 1 1】防災情報や災害への備えなどについて、ご意見などがありましたら、ご自由にお書きください。

分類	性別	年代	内容
3.災害への備え	男	60	地区住民に自主防災アンケートを実施中です。
3.災害への備え	男	50	啓蒙を多角、多面的に展開する。企業経由で親、学校経由で子ども、自治会、子ども会、スポーツコミュニティなど。 同様に、訓練や災害支援への参加、参加への支援など、体験を通じて醸成を図る。シルバー世代の活躍促進は、人生経験の活用、社会参画や運動の機会として有益な資源となり得る。 緊急時の資材提供を地場の事業所と連携することで、日常と非日常を地続きとし、地域の自立にもなる。 街を上げて、訓練や被災を想定したキャンプ体験、それらの反省から非常時を想定した公共施設のデザインや整備、対応人員の確保などを積み重ねる事が自助を高め、共助を生み、公助のありがたみにつながる。気候変動激化の時代は、日常に非日常を組み込むべき。
3.災害への備え	女	60	我が家は海や川から離れているから安心と思っていたが、最近の異常気象や各地の災害被害を見ると、これからの台風の影響や大雨などへの備え、万が一の避難等について家族で話すことは大切だと思います。離れた家族との連絡の事とかを以前話したことがあります。いろいろ取り決めを決めておくのも大事かもと思っています。最近の気候、これから先の気候にも恐怖を感じます。
3.災害への備え	女	50	災害は来ないと思っている気持ちが大きいが、ある程度は備えている状況です。
3.災害への備え	女	60	非常持ち出し袋は数年前に作って見直しをしていないので、この機会に中身の確認をしたい。食料の備蓄は、ローリングストックを心がけているが、何日分くらいあればよいかはわかっていない（今はせいぜい3日分）。住宅用火災警報器は、設置して安心してしまって、最近テストをしていなかった。点検や見直しの日を決めて実行したい。
3.災害への備え	男	70	各自治会の防災規約の作り方や、避難指示が出た時の避難の方法を指導してほしい。

【Q 1 1】防災情報や災害への備えなどについて、ご意見などがありましたら、ご自由にお書きください。

分類	性別	年代	内容
3.災害への備え	女	70	自宅は高台の賃貸集合住宅なので、危ないのは地震だと考えていて、水や食料については少し備蓄している。避難物資を常に持ち歩くことはできないので、出先での被災は運任せである。以前、一人で移動中、上野駅で電車が臨時停車した。近くで地震があったためとの車内放送があり、周りの人は誰一人慌てたり騒いだりしなかったが、私はとても不安でした。それ以来、小さなライトとホイッスルはバッグにつけている。自宅以外での被災についても知識や情報がほしい。
3.災害への備え	女	50	近くの避難所にどのくらいの備蓄品があるのか、住人が確認できる機会を設けたほうが良いと思う。私は最近その機会があり見せてもらったが、あまりの少なさにとても驚いた。避難所に行けば備蓄品があるだろうと思っている人も多いと考えられるので、自分で必要なものを準備しておかないといけないということを認識してもらう必要があると思う。
3.災害への備え	男	70	情報が多くあり、良い所を取り入れているつもりです。
3.災害への備え	男	50	・各避難所を中心とした災害備蓄品の整備と入れ換えシステムの構築 ・災害対応要領に関する知識習得と体験に基づく意識の定着 ・他都市での発生時に市として積極的なボランティアの派遣を行うことにより、災害を知り、ボランティアと防災の意識を向上 少しずつですが、積み上げ続けていくしかありません。市民や状況は変わり続けることから、必要な対応に決して終わりはありません。行政としても体制を整えつつ、市民への啓発を続けることが大切。啓発は、決して大袈裟なものばかりではなく、地区や世代を変えていろいろなことを体験してもらうなど、多世代に習慣として馴染んでもらえる仕掛けが必要。

【Q 1 1】防災情報や災害への備えなどについて、ご意見などがありましたら、ご自由にお書きください。

分類	性別	年代	内容
3.災害への備え	女	40	住宅用火災警報器は、新築した時以来触っていません。 もしもの時に用意しないといけないと思うが、災害があまりない宇部市。家族、市内の親元ともに意識が薄いです。 ひと家族で、どれ位の備蓄を用意すれば良いかもわからないのが現状です。
3.災害への備え	男	40	自分には起こらないだろうという感覚で、どうしても防災対策に本腰を入れられない。
3.災害への備え	女	50	自分は大丈夫と思ってしまいがち。自宅にいるときに地震が起きたらどうするかは想像するが、外出中に地震に遭遇したらどうすればいいのか、考えが及ばない。家族との連絡方法を決めておくといい。
3.災害への備え	女	50	宇部市では、市が補助金を出して防災士の資格取得を啓発していました。私も、その時に防災士の資格を取得した一人です。宇部市は防災士が多いと思うのにそれを活かしてない。一度、市内に何人の防災士がいるのか地区別等で調べてほしいと思います。自主的に防災士の資格を取得した人は、防災意識が高いと思います。補助金を出してもらった私は、何かのかたちで市の防災の役に立ちたいと思っています。地域が自主的に動いて防災組織をつくった方がいいと思いますが、自主防災会の総会に出た時も、高齢者は市が言うてくるのを待ったほうがいいというスタンスです。自助、互助、共助を考えると、自分たちでという主体性が必要と思います。
3.災害への備え	女	40	外出先でも何かあってはいけないから、車の中に最低限の避難用具を準備しています。また、キャンプ用のテントなどは有効に活用したい。

【Q 1 1】防災情報や災害への備えなどについて、ご意見などがありましたら、ご自由にお書きください。

分類	性別	年代	内容
3.災害への備え	男	40	災害はいつ起こるやも知れないとは認識しているが、いつかのための備えがおなざりとなっているのが現状です。この機会をきっかけとして、防災グッズの準備をしたり、今一度、備えをしていかなければと再認識しました。
3.災害への備え	女	30	自分でも備蓄はするが、市として、避難先の小学校などに常に災害用の備蓄品を用意しておいてほしい。食料ではなく毛布やティッシュなどの消耗品、長期保存できるものを。
3.災害への備え	女	70	何が起きるかわからないので、なるべく保存のきく食料等は今から備蓄するようにしている。知人等と話をしても、地震や土砂災害を不安に思っている人が多い。
3.災害への備え	女	60	自治体に災害時用の非常食などが配備されているが、その保管方法等の細かい点をどのくらい把握しておられるのか。 私が住む地域の公会堂では、部屋の一角に放置されたようにすら感じられる置き方でほこりをかぶっています。時期によっては陽も当たるような状況です。果たしてこれらは有効に使われることがあるのでしょうか。はなはだ疑問です。 せめて管理人がいる市民センター止まりで、きちんと管理するということでは。災害時という言葉で一括りにされる予算で、あってないのごとし非常食配備は見直すべきです。賞味期限が近づいたものの有効利用についても、今一度考えるべきだと思います。
3.災害への備え	女	50	もともと防災意識はある方でしたが、消費生活講座で、実際に震災を経験し防災士でもある山口県環境アドバイザーのリアルな話を聞くと説得力があり、危機感を感じていろいろと備えるようになりました。こういった講座をまめにしていただけたらと思う。

【Q 1 1】防災情報や災害への備えなどについて、ご意見などがありましたら、ご自由にお書きください。

分類	性別	年代	内容
3.災害への備え	女	40	子育て支援ばかりではなく、独り暮らしのお年寄りに安心な備えを市が提供してくれたらよいと思います。
3.災害への備え	女	50	訓練をよくしてほしい。
3.災害への備え	男	70	宇部市民は防災意識が低いように感じる。啓発運動を進める必要がある。過去に大災害の実績が多い厚南地区に防災訓練センターみたいな施設がほしい。
3.災害への備え	男	60	我が家は急傾斜地にあります、工事済みですが、メンテナンスが難しいので行政の力を借りたい。
3.災害への備え	男	50	防災グッズの補助があれば、もう少し備えられると思います。
3.災害への備え	女	60	災害は忘れたころにやってくるとよく言いますが、災害に関する訓練を年に1度でいいのでしてほしいです。案内があったかもしれませんが、今まで参加したことがありません。
3.災害への備え	女	60	あまり身近なこととして意識していないので、ちょっと気を付けて確認したいと思っています。
3.災害への備え	男	70	静岡では中学生を主体とした「ジュニア防災士」登録制度を発足させ、すでに数千人の資格取得者がいるとのこと。宇部市でもジュニア防災士（宇部版）を設定し、家庭での救急対応や自分を災害から守る基礎知識を習得してもらい、地域の若い力として、防災意識の向上へ貢献してもらいたい。子どもは終日地域にいる可能性が高く、いざというとき活躍できるのでは。特に早期避難の推進には、子どもたちの意見や注意は効果があるのでは？

【Q 1 1】 防災情報や災害への備えなどについて、ご意見などがありましたら、ご自由にお書きください。

分類	性別	年代	内容
3.災害への備え	男	70	標高の低い宇部市は、特に高潮に対しての認識が必要。江戸時代に開作された地域は、特に認識が必要。昭和17年台風で冠水した地域は、江戸期に海から陸地に開発された地域であることに注意。宇部地域の開作の歴史を小学生の頃から学ぶことが必要だと思う。
3.災害への備え	男	30	歩道しかない細い道を拡張して、車も通行できるよう道路を整備してほしい箇所がある。整備されることで袋小路が改善され、陸の孤島化を防げると考えます。
3.災害への備え	男	70	地区民生児童委員の立場で、高齢者などへの啓蒙活動を行っている。自治会などでの地区における要援護者の実情把握が不足している。防災訓練であれば現状でも機能するのも知れないが、いざ本当に災害が起きた時には、自治会役員・民生児童委員などは対策本部・避難所へ赴き活動を余儀なくされる。そうすると、各自治会内は誰が指示し、隣人の援護をするのが問題である。そうしたことを鑑みて合同研修会を実施予定である。令和4年1月に地区で自治会役員・福祉委員・民生児童委員・自主防災会役員との合同の研修会を行い、自治会ごとの助け合いマップ、リスト作成などを行うべく準備中だ。
3.災害への備え	女	50	防災については一人一人の認識を高めていく事が大事で、行政はよく考えてくださっていると思うが、広報の仕方が良くないと思う。

【Q 1 1】防災情報や災害への備えなどについて、ご意見などがありましたら、ご自由にお書きください。

分類	性別	年代	内容
3.災害への備え	女	50	先日、地区防災士会で、四年生と一緒に避難所(小学校)の段ボールベッド作りと地区備品を見ましたが、沢山の人が避難してきた時には足りない事を知り、改めて個人の避難バックの充実が必要だと思いました。そして、「避難したら、何でもあるやろ」と思い込んでいる人に個人の準備の必要性を知らせる機会をもたないといけないと思いました。
3.災害への備え	女	60	これは火事での防災でしょうか。ここの地区は水害です。多くの雨が降ると、真締川が流れなくなり、水路はあふれ、すぐに車のドアまで水がきます。どうにかならないものか。年に何度と。夜だと寝られませんか。地震も怖いですが、水害も怖いです。
3.災害への備え	女	30	地震が少なく、住んでいる所が海から離れていて、土砂災害や洪水ハザードマップからも外れている為、自分自身、災害に対する意識が正直薄いように思います。震度6弱や震度5ぐらいの地震が起きると宇部市ではどんな状況になるか市民に分かりやすく伝える機会を設けたり、最低限の災害グッズを販売する、または配布する等して、防災への意識を高める活動があればいいなと思います。
3.災害への備え	女	30	非常持ち出し袋などの準備をしておこうとは思いますが、結局何をどう準備したらよいか分からないので、「こういう災害にはこれが必要」みたいな具体的な内容を教えてもらえると良いなと思います。

【Q 1 1】防災情報や災害への備えなどについて、ご意見などがありましたら、ご自由にお書きください。

分類	性別	年代	内容
3.災害への備え	男	60	個人情報保護で自治会の名簿が作りにくく苦慮しています。コミュニティ推進協議会会長くらいには、情報提供をしていただきたいと思います。
3.災害への備え	男	50	自治会組織をもっと有効活用すべきと思います。物理的・地理的に近くに居る住人同士は、好む・好まざるに関係なく利害関係者です。もっと地域力に頼る施策が、効率がよく、費用対効果に優れていると考えます。 自治会組織の若返りを後押しする施策も同時に必要だろうと思います。高齢者ばかりだと、文殊の知恵はあっても行動力を伴うアイデア出しには行き着きません。
3.災害への備え	女	60	いざというときはどうなるか焦るだろうな。こまめに情報を確認しなければと思います。
3.災害への備え	男	70	自治会の役割がわからない。
3.災害への備え	男	70	厚東川の側に住んでおり、異常な雨量や台風などによる高潮が心配である。厚東川水系に監視カメラが設置されているが、災害避難に活用できるか不安である。堤防のかさ上げなどの対策も必要であるが、厚東川の下流域を見ると土砂の堆積が多くみられる。実質の水深の深さは減少しているので、これらの土砂の浚渫を実施してほしい。宇部港湾内の浚渫は適宜実施され、西沖の干拓地の土砂は排出されていると思う。宇部市は海苔の養殖により工事期限が制限されているようだが、毎年計画的に実施すればよい。カメラ設置よりも、より効果的ではないか。上流からの土砂の堆積はかなり量の量だと思う。

【Q 1 1】防災情報や災害への備えなどについて、ご意見などがありましたら、ご自由にお書きください。

分類	性別	年代	内容
3.災害への備え	男	30	日々の備えが非常に大切であるが、物置の奥にしまっていたのではいざというときに使えないため、防災用としてではなく日々のアウトドア用として揃えるようにしている。他の自治体では防災キャンプ・サバイバルキャンプ等といったイベントで、身の回りのものや野山にあるものを使って生き残る術を実体験で学べるような企画があるようなので、ぜひ宇部市でも企画してほしいです。
3.災害への備え	男	60	断水や停電などへの備えについて、きちんとまとめたものがあるのなら、リンクを掲載してもらいたいのですがね。
3.災害への備え	女	30	日頃しなければならぬとは思っているが、何も対策していないので、これを機に確認したいと思いました。
3.災害への備え	女	50	最近は毎年災害が何処かで起きています。災害を身近に感じるようになってきたので、食料品や水の備蓄をちゃんとするようになりました。これからもいろいろと災害に備えて準備していこうと考えています。他人事ではなくなってきたと思います。明日は我が身と考えていこうと思います。
3.災害への備え	男	60	防災グッズを展示する。
4.住宅用火災警報器	男	80	住宅火災警報器の設置について、認識に甘さがありました。反省します。
4.住宅用火災警報器	女	70	自宅が高台にあり周りにスペースがあるので、津波や洪水などの心配がない。住宅用火災警報器の義務化は知らなかった。どこで売っていて値段が幾らなのかも分からない。罰則もなく、義務化の広報が不十分だからだと思う。
4.住宅用火災警報器	女	40	大家さんの管理でしょうか？
4.住宅用火災警報器	女	60	住宅用火災警報器設置の義務について、行政の設置点検が望ましいと思います。
4.住宅用火災警報器	男	80	住宅用火災警報器を設置する予定。

【Q 1 1】防災情報や災害への備えなどについて、ご意見などがありましたら、ご自由にお書きください。

分類	性別	年代	内容
4.住宅用火災警報器	男	70	設置時（6年以上前）に作動確認をして以来確認していないので、至急、作動点検を実施したい。
4.住宅用火災警報器	男	70	住宅用火災警報器の設置場所は、「台所」と「寝室」ではないか？
4.住宅用火災警報器	男	60	火災報知器の点検・検査をしたいが、どうすればよいのかわからない。へたに触って警報が止まらなくなるのではという疑問がある。
4.住宅用火災警報器	男	70	警告ありがとうございます。早速、各部屋に火災報知器を取り付けます。
5.その他	男	70	小野地区民生児童委員協議会では、地区内の災害時要援護者を対象に「災害時の避難行動等に係る聞き取り調査」を行うこととしています。参考までにその要領等を添付します。調査結果により、今後ご指導、ご教示いただくこともあろうかと存じますので、よろしくお願いします。
5.その他	男	70	災害時、地域への協力はすぐにしたいが、まず、自分の家族や自宅の状況を見てからのことになると思う。
5.その他	男	60	地区で行う防災訓練等、お手伝い・協力をお願いします。
5.その他	男	60	ためになる。
5.その他	女	40	台風の影響を考えて学校が休校になるが、親にも影響が出ることを念頭に慎重に検討してほしい。親が仕事を早退したり、休んだりして、他の人にしわ寄せが出てくる。市外に住んでいるので、通行止めがないかなど、大人でも早く帰宅したいのに、残業になったりすることもある。子どもがいない人は、いつも損だなと感じます。
5.その他	男	40	家が高台にあるので、あまり心配していない。